

## **(仮称)動物愛護センター整備検討に向けた サウンディング型市場調査の結果概要を公表します。**

(仮称)動物愛護センター整備の検討に当たり、基本構想の策定に向け、民間事業者等と連携した施設の設置・運営について、幅広いご意見・ご提案をいただくための「サウンディング型市場調査」を実施いたしましたので、その結果を公表します。

### **1 実施経過**

<u>平成30年10月11日(木)</u>	実施要領の公表
<u>平成30年10月29日(月)</u>	事前説明会の開催 【参加団体：5団体】
<u>平成30年11月26日(月)</u> <u>～30日(金)</u>	対話の実施 【参加団体：5団体】

### **2 調査内容**

基本構想を検討するための、

- (1) (仮称)動物愛護センターの活用方法等について
- (2) 事業実施に当たり懸念する事項や配慮を要する事項等について

### **3 主な意見**

別紙のとおり

### **4 今後の予定**

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、基本構想の策定に向けた検討を進めてまいります。

## ＜サウンディング型市場調査 対話結果意見概要＞

### 1. (仮称)動物愛護センターの活用方法等について

#### 【(仮称)動物愛護センターを活用した事業について】

- (仮称)動物愛護センターを活用した事業及び事業用地内で利用可能な用地を活用し自らの責において整備・運営する事業等のアイデアとして、立地、付加価値の付け方次第では収益事業を併設することも検討できるとの意見がありました。
- 統廃合後の小中学校等の廃校舎を利活用した施設の整備等、付加価値の付け方によっては集客を見込むことも可能との意見をいただきました。
- 教育施設や社会福祉施設を含めて事業を行っていくことが可能ではないかとの意見をいただきました。
- ペット関連業態の社会貢献活動として、「保護動物の譲渡事業」「動物愛護啓発活動」「地域動物医療」の分野で協力が可能との提案がありました。

#### 【動物愛護センターに併設が期待される事業の見通し】

- 公費のみで運営される施設ではなく、官民一体で運営される事業性を持ち合わせた施設であると認識している。
- 施設のイメージ(保護犬等の保護施設)としてネガティブな一面も少なからずあるが、それらと同一施設で事業を行うことは、経営上不利に働くとは考えていない。
- 他自治体の例から、併設が想定される事業は、あまり収益が得られる事業ではない。
- 近年は SNS 等の普及に伴い、同犬種飼い主の集まりを目的としたイベント等もあり、マーケットとしては、何か引きつけるものがあれば遠くからの集客も可能である。
- 譲渡事業で収益を得ることは難しいが、トリミングの養成施設やペット可のマンション等を併設することにより市場性が生まれる。
- ペットも飼い主も高齢化しており、動物医療については需要が高まると考えられる。

### 2. 事業実施に当たり懸念する事項や配慮を要する事項等について

#### 【設置場所について】

- アクセスは重要となるが、動物連れでの公共交通機関は利用しにくいいため、必ずしも駅前でなくてもよい。
- 圏央道沿いやインターチェンジに近い方が、県内外からの集客には有効だと考えられる。(2団体より)
- 統廃合後の廃校舎のリユースであれば、グラウンドを駐車場とすることが可能である。

- 場所は重要である一方、土地に即した施設であることが重要で、例えば自然を利用したドッグランなど、特色を出していくことが有益であると考えられる。
- 動物とのふれあい、動物愛護に関する情操教育を目指すのであれば、ペットを飼っている人しか立ち寄れないのではなく、ペットを飼う可能性がある人の目に触れる商業施設との併設等がよい。
- 既存の商業施設やドッグラン施設等が周辺にあれば、イベントに併せたふれあい譲渡会などの開催が期待できる。
- リース方式で行う場合は、立地が最も重要となる。

#### 【その他】

- 建設するに当たっては、住民説明会や有識者からの危惧を払拭するよう、説明には時間をかけた方がよい。
- 動物愛護センターは一般的にはまだまだネガティブなイメージの強いものであることから、これを払拭する必要がある。
- 最近の他自治体の動物愛護センターでは、しつけ教室や譲渡会を行っており、地元の方にも利用しやすいものになっているため、グッズ販売等にあっても違和感は感じられない。
- 建設や開設に当たっては、市からの周知やアピールを十分に行うことが重要である。
- 廃校舎のリユースなどしばらく使っていない施設の場合、インフラの整備及びその費用負担はどこが行うかという課題がある。
- マナーのよい飼い主を見て、他の飼い主が学んでいくような自主的な気づきができる仕組みが重要である。
- リース方式で行う場合、施設のイメージと合わず、テナントが入りにくい可能性はあるが、エリア分けができるのであれば、緩和できる可能性がある。

### 3. その他

- 場所(候補地)が決まれば、より具体的な提案が可能である。(3団体より)
- 併設する事業の内容によっては、PFIも可能だと思われる。
- 建設に当たっては、寄付を募ることも検討した方がよいと思われる。